

中小企業者家賃補助事業【第3弾】の実施結果について

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少している市内中小企業者への「資金繰り支援」、「事業活動の継続支援」を目的として実施した、「町田市中小企業者家賃補助事業【第3弾】」の結果を報告します。

1 事業の概要

	2021年度【第3弾】	2020年度【第2弾】	2020年度【第1弾】
対象者要件	① 市内に事業所を有する中小企業者（本店所在地が市外でも可）	←	←
	② 市内に事業用の建物を賃借し、生産や販売、サービス提供等を行っていること	←	←
	③ <u>2021年1月～3月</u> のいずれか <u>1か月</u> の会社全体の売上が、 <u>前年同月または前々年同月</u> の会社全体の売高と比較して、 <u>15%以上減少</u> していること	③ 2020年1月～7月のいずれか2か月の会社全体の売上が、それぞれ前年同月の会社全体の売高と比較して、 <u>15%以上減少</u> していること	③ 2020年1月～5月のいずれか2か月の会社全体の売上が、それぞれ前年同月の会社全体の売高と比較して、 <u>15%以上減少</u> していること
	④ 今後も町田市内で事業継続の意向があること	←	←
補助対象経費	<u>2021年1月～3月</u> のうち、 <u>1ヶ月</u> 分の支払済家賃	2020年1月～7月のうち、 <u>4ヶ月</u> 分の支払済家賃	2020年1月～5月のうち、 <u>2ヶ月</u> 分の支払済家賃
補助率	支払済家賃額の1/2	←	←
補助額	1ヶ月分上限20万円	1ヶ月分上限20万円 (4ヶ月分で最大80万円)	1ヶ月分上限20万円 (2ヶ月分で最大40万円)
申請期間	<u>2021年5月6日～6月30日</u>	2020年7月22日～9月30日	2020年5月19日～7月21日

2 実施結果

(1) 【第3弾】決算見込額

A 予算額	B 補助件数	C 補助事業所数	D 補助交付額
400,000 千円	2,354 件 (前回比▲530 件) (内訳) 第2弾 2,170 件 新規 184 件	2,854 件 (前回比▲670 件) (内訳) 第2弾 2,649 件 新規 205 件	287,123 千円

E 平均補助額 (1社あたり) (D/B)	F 平均補助額 (1事業所あたり) (D/C)	G 物件種別 (Cの内訳)
121,972 円/1 ヶ月	100,603 円/1 ヶ月	戸建：647 件 ビル等：2,207 件

【第1弾・第2弾】決算額

A 予算額	B 補助件数	C 補助事業所数	D 補助交付額
1,490,000 千円	2,884 件 (内訳) 第1弾 2,000 件 第2弾新規 884 件	3,524 件 (内訳) 第1弾 2,417 件 第2弾新規 1,107 件	1,430,297 千円

E 平均補助額 (1社あたり) (D/B)	F 平均補助額 (1事業所あたり) (D/C)	G 物件種別 (Cの内訳)
495,942 円/4 ヶ月 (123,986 円/1 ヶ月)	405,873 円/4 ヶ月 (101,468 円/1 ヶ月)	戸建：793 件 ビル等：2,731 件

(2) 申請受付から入金までの期間 (平均日数)

【第3弾】 24.7 日

【第1弾・第2弾】 26.7 日

(3) 窓口相談、問合わせ件数

	期間	件数	1日平均
窓口相談件数 (事前予約制)	【第3弾】 5月6日～6月30日	190 件	4.9 件
	【第1・2弾】 6月1日～9月30日	295 件	3.6 件
電話問合わせ件数 (相談ダイヤル受付件数)	【第3弾】 4月12日～6月30日	797 件	14.8 件
	【第1・2弾】 5月19日～9月30日	3,397 件	37.0 件

(4) 業種別補助件数

業種別補助件数	サービス業			小売業	製造業・ 建設業・ 運輸業	卸売業	その他	計
	(飲食)	(理美容)	(その他)					
【第3弾】A	627	222	691	303	251	62	198	2,354
【第1・2弾】B	693	280	900	372	315	77	247	2,884
増減件数 A-B	▲66	▲58	▲209	▲69	▲64	▲15	▲49	▲530
増減率 A/B-1	▲9.5%	▲20.7%	▲23.2%	▲18.5%	▲20.3%	▲19.4%	▲19.8%	▲18.3%

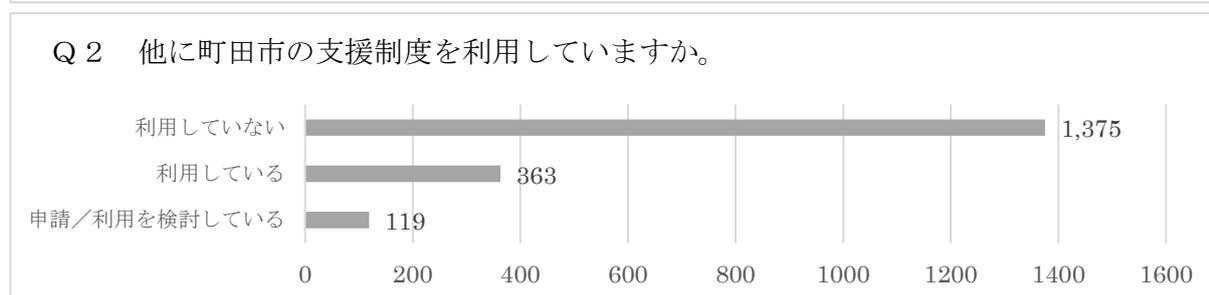
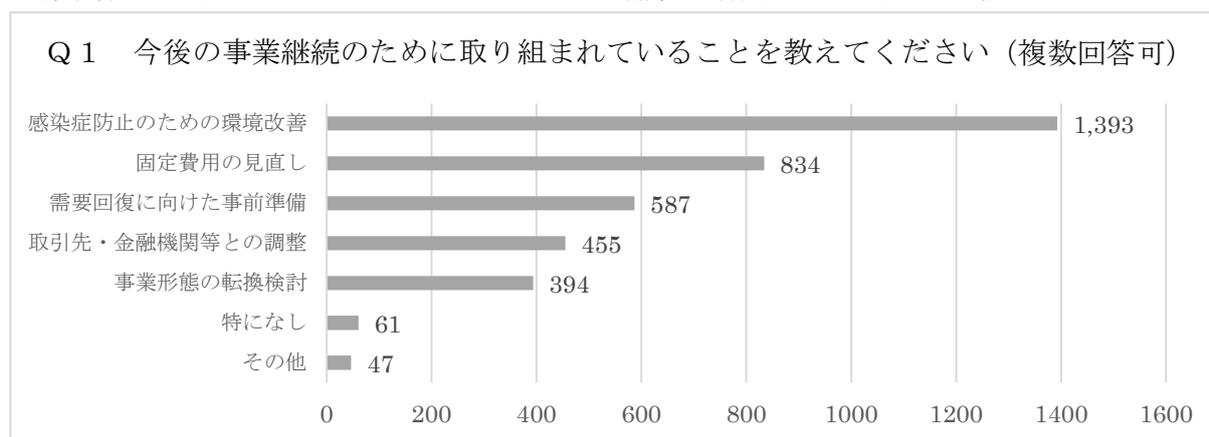
(5) 所在地別補助事業所数

事業所数	原町田	森野	中町	玉川学園	能ヶ谷	その他	計
【第3弾】A	775	284	272	105	95	1,323	2,854
【第1・2弾】B	941	359	337	121	110	1,656	3,524
増減件数 A-B	▲166	▲75	▲65	▲16	▲15	▲333	▲670
増減率 A/B-1	▲17.6%	▲20.8%	▲19.2%	▲13.2%	▲13.6%	▲20.1%	▲19.0%

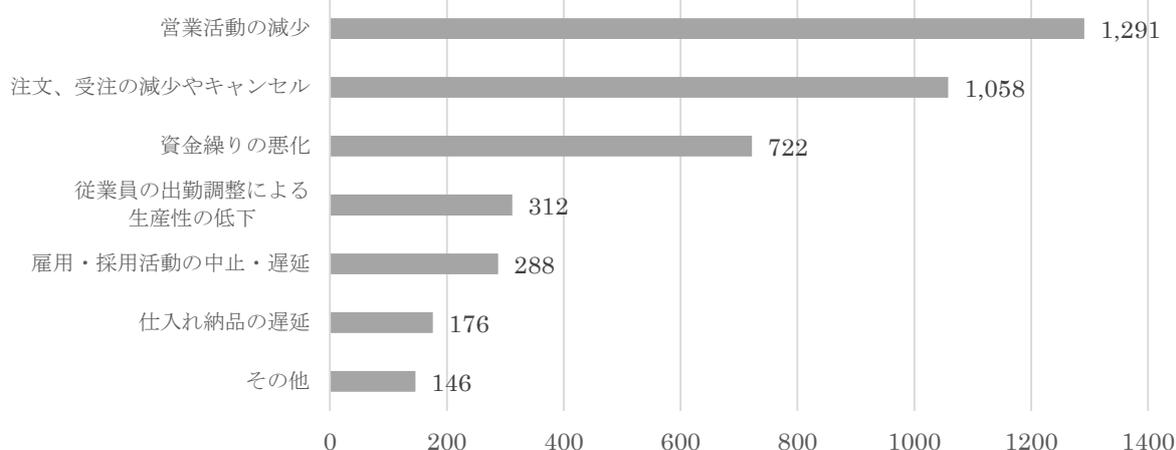
3 アンケート結果

対象：補助金交付者（2,354件）、有効回答数：1,897件（80.5%）

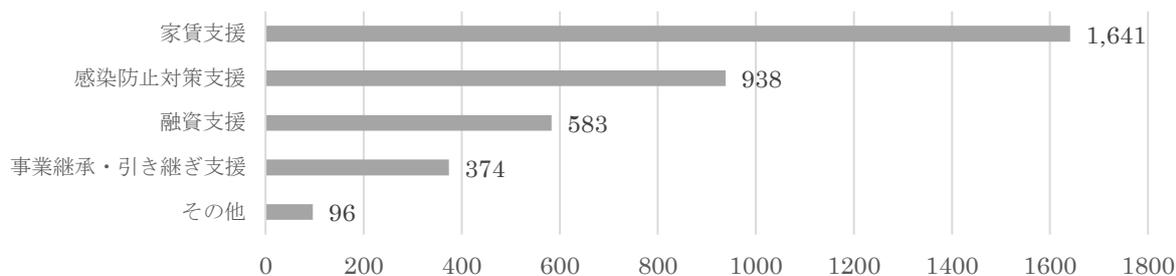
期間及び方法：5月6日～6月30日に補助申請と同時に紙で回答



Q 3 新型コロナウイルス感染症の影響をうけている具体的な事例について教えてください。（複数回答可）



Q 4 今後期待する支援について教えてください。（複数回答可）



4 実施結果に対する考察

- (1) 補助件数が第2弾を下回った要因としては、第2弾のみ交付済者のなかで、申請要件である売上高減少率15%以上に該当しない事業者が一定程度あったことがあげられます。
- (2) 第2弾のみ交付済者2,868の事業者へ、個別に案内文を4月下旬に送付しました。さらに、6月2日時点で未申請の第2弾のみ交付済者へ、電話で再度ご案内しました。その結果、2,868件の第2弾のみ交付済者の内、2,170の事業者から申請がありました（申請率75.7%）。
- (3) 必要書類の作成等に関する問い合わせを中心とした電話問い合わせ件数は、第1弾・第2弾に比べ、およそ2割にとどまりました。これは、市から第2弾のみ交付済者へ送付した案内文に、第2弾時の対象物件等申請情報を記載したことで、スムーズな申請につながったものと考えられます。
- (4) 第3弾の申請要件では、2021年1月～3月の売上減少率の比較を、前年の2020年の同月、または、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年の

同月を対象としました。ところが、2020年と比較している事業者が1,630件で、全体の69.1%に上り、前年の2020年よりも厳しい状況であると考えられます。業種別補助件数について第3弾を第2弾と比較すると、サービス業のなかでも飲食業は、他の業種に比べて申請件数の減少率が低いことから、特に厳しい状況にあると考えられます。

- (5) 第3弾の審査では、第2弾申請書類を利用することとし、事業者の提出書類を簡素化したことで事業者の負担を減らすことが出来ました。同時に、市の確認書類の量を減らすことで、審査を効率的に行うことが出来ました。さらに、申請のピーク期間を予想し、スタッフを多く配置するよう体制を工夫しました。その結果、申請受付から入金までの平均日数は第2弾よりも2.0日早い24.7日となり、市内中小企業者への迅速な「資金繰り支援」、「事業活動の継続支援」につなげました。